

まちの Machi no Wadai 話題



わくわく体験

石狩商工会議所青年部の小学生向け職業体験事業

×

ドリームキッズシティ

石狩市役所ブース

自分で作った
この椅子は
お土産に
もらいました!

さだひさ
定久湊さん



大工さんの

お仕事体験



加藤市長もこどもたちの
意見に興味津々。
耳を傾けていました!

ネイルサロンの

お仕事体験



におい袋を作ったり、
郵便局や警察の
お仕事体験もでき、
楽しかったです!

小林
和可奈さん



イベントのコンセプトは、「こどもが主役」であること。保護者は見学エリアから見守るのみで、仕事選びから買い物まで、こどもたちが自分で考え行動します。頼もしく生き生きとした笑顔があふれ、こどもたちの成長を感じる一日になりました。

参加者の一人、小学6年生の定久湊さんは「9カ所体験した!」と言い、「カフェでホットドッグを販売したり、大工体験で椅子を作ったのが特に面白かった。30分でも働くのは大変なのに、毎日一日中働く大人はすごいし、かっこいい!」と充実した表情で話してくれました。

会場には25の職業体験ブースが並び、そこで10分〜30分ほど働くと、お給料が専用通貨「ドリーム」で支給されます。その通貨で買い物したり、確定申告をして税金について学んだりできるブースも。さらに、今回は石狩市役所も初出展し、こどもたちがまちづくりについて真剣に語り合う姿も見られました。

今回は7月19日に花川北「コミセン」で開催された職業体験イベント「ドリームキッズシティUSAKA2026」を取材しました。市内の小学3〜6年生を対象に、石狩商工会議所青年部が主催したイベントで、定員250人のところ、361人も応募が殺到したそうです。



市民記者
井出美沙さん

プロフィール ■小学3年生から石狩市に暮らし、現在は市内の旅行会社アミーケ・インターナショナル(株)に勤務。市内でのバスツアーや体験プログラムの仕事を通して出会った人々や場所の魅力を伝えたいという思いから市民記者として活動しています。

広告

広告